

# 風

加古川市内の国包、平荘、水丘各地区で、住民らのグループを取材する機会が立て続けにあった。ひしひしと感じたのは、地元を盛り上げようという強い思いだった。

「国包けやきの会」の藤原忠悟会長は、公会堂横で巨木の周囲に長いすを並べたり、焼

き卒大会を開いたりと住民が集まる場の創出へ頭をひねる。平荘小学校の狂言発表会を支援する「平荘狂言教室」



後援会」の弓削弘会長は、子どもの見守り活動など学校とのさらなる連携を模索する。地

域情報を発信する「ま

(伊丹昭史)